

「館山市健康増進計画」(案)に対するパブリックコメントへの意見集計結果について

平成29年12月22日から平成30年1月22日まで実施した「館山市健康増進計画」(案)に対するパブリックコメントについて、12件の意見等が寄せられました。寄せられた意見に対する市の考え方は、以下のとおりです。

	区分	分類	意見	意見に対する市の考え方
1	館山市内に通勤又は通学されている方	全体的事項	健康やスポーツクラブについて、相談窓口の一覧があるといい。	貴重なご意見をありがとうございます。 相談窓口先が分かるよう、用語集に相談窓口一覧を追加します。
2	館山市内に通勤又は通学されている方	策定手法	P.3 第5節 策定の手法 まとめ中、「普段から健康課職員と一緒に事業を行っている・・・」と保健推進員の説明があり、計画策定にあたり、意見交換を行ったまとめが記載されているが、保健推進員という人がどんな人たちで、何のために、何をしている人なのか分からない。 なぜ保健推進員が選定されたのか分かりづらい。P47 に参考資料が掲載されているが、そこまで読み進まないといけない。	保健推進員は、市が実施する保健業務に関し、相談、調査、連絡などの業務を推進する協力者として、日頃から健康課と一緒に事業を行っています。そのため、比較的、健康意識が高く、研修会や事業を通じて、自身や地域住民の健康について考える機会が多い保健推進員の「声を聴く場」としてワークショップを開催しました。 また、保健推進員については、用語集に記載します。
3	館山市内に通勤又は通学されている方	活動目標	P15. 第2節 基本目標・活動目標 [基本目標4]適度な飲酒と禁煙のまち・館山 P16. 4適度な飲酒と禁煙のまち・館山 7適度な飲酒を心がけよう P33. [基本目標4]適度な飲酒と禁煙のまち・館山 [活動目標7] 適度な飲酒を心がけよう 「適度な飲酒」という言葉が、そもそも飲酒をしない市民に対しても、健康のために飲酒を勧めているように解釈され、誤解されるような表現と思われる。	飲酒習慣のない方への誤解を生じさせないため、33頁に「ただし、飲酒習慣のない人に対して、飲酒を推奨するものではありません。」を追加します。

4	館山市内に通勤又は通学されている方	活動目標	P.16 15多様な主体で推進しよう 「健康づくり」と何の関係があるのか、活動目標がわかりづらい。	館山市で進めている、様々な立場の人が地域や職域を越えて連携し、市民の健康寿命を延ばすため、未来に向けて、市民の健康や幸せを地域全体で支え合う「コミュニティ医療」を踏まえ、まちぐるみで健康づくりを推進していくことを活動目標としています。
5	館山市内に通勤又は通学されている方	生活習慣病 予防	P9.(2)成人の生活習慣病の状況 ①内臓脂肪症候群(メタボリック・シンドローム) 「メタボリック・シンドローム」の表現の方が一般的と思われる。特定健診、特定保健指導では「内臓脂肪症候群」という表現を用いるようであるが、この場合はどちらが妥当なのか。P20の表記はそのままで良いと思われる。	現在、「メタボリック・シンドローム」が一般的に使われており、認知度も相当程度あるものと思われるので、「メタボリック・シンドローム(内臓脂肪症候群)」の表現に統一します。
6	館山市内に通勤又は通学されている方	生活習慣病 予防	P.20 特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率について 法定報告値とは何か。	法定報告値とは、「高齢者の医療の確保に関する法律」第142条の規定により報告した受診者数／実施者数に基づいて算出された受診率／実施率をいいます。 用語集に記載します。
7	館山市内に通勤又は通学されている方	生活習慣病 予防	P20 特定保健指導実施率について 「全国の252市の平均」のみデータの根拠が異なるが、比較対象として必要なのか。	館山市、千葉県、全国とデータの根拠が異なるため、「全国の252市の平均」に係るデータは削除します。
8	館山市内に通勤又は通学されている方	予防接種	P.41 予防接種の一覧 二種混合については、二種のワクチンが記載されているが、四種混合については、ワクチンの種類が記載されていないが、なぜか。	ご指摘のとおり、予防接種の四種混合に係るワクチンを追記します。 ① ジフテリア、② 百日咳、③ 破傷風、④ ポリオ
9	館山市民	その他	P23～27 これまでの経験から、子どもの保護者に対しては「子供は地域の宝、健康は一生の宝物」を念頭に置いて、「食」についてパンフレットを見せるだけより、調理実習を通じた指導の方が印象に残ると感じています。 保護者が学ぶことで、P49のめざす方向の「子供の頃からの健康づくり」にもつながるものと思います。	貴重なご意見をありがとうございます。 様々な関係者が相互に連携・協力を図りながら、健康に関する正しい情報・知識の普及や意識づけと合わせて、健康づくり活動を実践していくことが、子どもから高齢者まで、すべての市民の健康寿命の延伸に繋がるものと考えます。

10	館山市民	その他	<p>P.28(2)知って得する健康塾について</p> <p>専門家の講義を聴ける機会があるが、参加者が年々減少しているため、保健推進員とか、近所のリーダーなどが宣伝・参加してはどうか。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>今後、事業の実施にあたっては、お寄せいただいた方法も含め、様々な媒体を通じて周知に努めていきます。</p>
11	館山市民	その他	<p>高齢者福祉課が推奨している「通いの場」は高齢者の運動のきっかけや、生きがいにつながり、健康寿命が延びる取組であり、感謝しています。</p>	<p>市内の各地で行われている「通いの場」や「サロン」での活動や取組を通じた社会参加が介護予防に大変効果的であると考えます。市では、今後も地域で自主的に行われる健康増進や介護予防活動の取組への支援に努めていきます。</p>
12	館山市民	その他	<p>自分のことを自分でできなくなってからの仕組みは、出来ていると思います。</p> <p>大事なことは健康寿命をいかに伸ばすかで、これは個人の自覚が非常に重要で、どうすれば自覚が持てる取組を行うことができるか。</p> <p>(提案)</p> <p>イ 希望者に健康手帳を配布</p> <p>ロ 毎日の歩数を記録し、運動などの記録を残す。</p> <p>ハ 毎日集計が、月や年の集計となる。</p> <p>ニ その結果、一定の歩数を達成した人に、ポイントを付与し、公共のスポーツ施設や入浴などが利用できる。</p> <p>このように、小さな楽しみや目標があるがあると良い。</p> <p>大事なものは、家の中に閉じこもらず、外出して体を動かすことだと思う。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>健康の維持・増進や健康寿命の延伸を図るためには、何より、市民一人一人が健康を自分事として捉え、自ら、気づき、考え、そして、行動につなげることが重要です。市では、そのためのきっかけづくりや定着のための環境づくりや支援に努めていきます。</p> <p>ご提案のありました事項につきまして、市では以下の取組を進めています。</p> <p>イ. 健康手帳につきましては、総合検診の際などに希望者に対し、配布しています。また、厚生労働省のホームページからもダウンロードすることができます。</p> <p>ロ、ハ、ニにつきましては、平成29年度より『たてやま健幸ポイント』事業を実施しています。2週間程度以上の健康的な取組のほか、特定健診や各種がん検診の受診、健康教室・スポーツイベントへの参加した場合にポイントを付与しています。ポイントを貯めて応募すると、抽選で商品券などの景品を贈っています。</p> <p>今後、さらなる事業の周知に努めていきます。</p>